



建交労鉄道 岩手地本

2017年11月16日 NO 99号

発行責任者 須藤清成



国土交通省鉄道局交渉



交通省前

国民春闘共闘・全労連・国民大運動実行委員会は11月8日、東京・霞が関を中心にした中央行動で、建交労は、全国から256名の仲間が集まり、交通運輸の安全確保、労働条件改善を求めて、国土交通省、厚生労働省に要請行動をしました。

交通省前で、高城政利議長の挨拶。全労連の小田川議長・日本航空解雇撤回原告団内田妙子団長・社保庁職員解雇を求める厚生労働部松本さんが連帯の挨拶をしました。

午後から参議院会議室「102号会議室」鉄道本部は、安全問題など国土交通省鉄道局交渉を行いました。

国鉄が分割民営化 進み、「公共交通の危機」状況が広がっている。後が絶たない。不採算路線 廃止、駅の無人化が J R 只見線復旧工事

復旧工事の地元負担をやめ、J R 東日本に責任をおこすように指導すること。

地方の交通機関として考えてほしいと訴えました。

環境破壊のリニア新幹線は中止を

沿線住民の不安や心配の声を真摯に耳を傾け、丁寧な説明を行う様に J R 東海を指導すること。

参加した地元の方

安倍改憲NO！労働法制の大改悪ストップ！

共同行動を大きく広げ、平和と暮らしを守ろう！

建交労11・8中央行動

は、夜間工事はしな

い「住民に迷惑はかけない」と言うだけで朝3時頃までトラックが入り込んでいる。

国土交通省は J R 北海道に必要な支援を

経済安定基金運用益を確保すること。

J R 貨物が北海道に支払う線路使用料を第三セクターと同じ料金にすること。

災害により長期に渡り不通になっていく復旧工事を早期着工を求めた。

J R 貨物の構造的な問題解決を

物流の基幹をなしている鉄道貨物の輸送の維持発展のために必要な対策を継続的に行うことを求めた。

相木委員長は、「国鉄が民営分割」してから30年。国が検証を行う事が必要であると指摘し要請を終了。その後、議員要請を行いました。

いの健フオーラム

わたしは、はたらきやすい職場を求めます

8時間いたら、帰れる、

まともに暮らせる社会を！

日 時 11月23日 13時30分～16時

場 所 岩手県公会堂 26号室

岩手県社会福祉学校第2階講座

高齢者の地域生活の課題

日 時 11月25日 13時～16時

場 所 岩手県公会堂 26号室

9条改憲NO 市民の共同行動を一緒に

岩手の会結成会

日 時 12月10日 13時予定

場 所 サンビル7階ホール

人間が健康に生きて行く為に 99

今や人生は100年。
ちりも積もれば山となる。
無理をせず自分の体に合わせて少しずつ
1日1歩みんなで3歩
3歩すすんで2歩下がる—
立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿が百合の花

古より、立ち居振る舞いの美しい女性のことをいいますが、立ってフラフラする時は芍薬。べったり座って動けないときは牡丹。歩くのもしんどい時は百合と女性の体を労わっての漢方薬の事を表しているそうです。

漢方薬の弊害もいわれている今、日々の姿勢をちょっと意識して暮らすだけでも血流が良くなり、元気になるます。

どうですか？ 一歩から初めてみませんか。
背筋を伸ばせば

- ◎ 健康になる
血液やリンパ液など 体液の流れが良くなること・・・
- ・ 自然治癒力（免疫力）が高まる（病気になりにくい、治りやすい体に）
- ・ 基礎代謝力が高まる（常に若々しい細胞に入れ替わる。肥満になりにくい体質に）
- ・ 体温が高まる（自然治癒力が高く、生活習慣病になりにくい体質に）
- ◎ 意欲・やる気が出る
神経や内臓の圧迫が解消されて 脳への血流も増えることで・・・
- ・ 自然とやる気が効率が上がる
- ・ 姿勢を変えるだけで、やる気や根気に変化が現れるとの実験効果も
- ・ 感情と姿勢には関係性があることも分かってきた（猫背はうつ病の一因）

背中が曲がるよ 日頃何気ない姿勢が積み重ねて大ごとになる

- 正座の時足指を重ねる（骨盤歪みの要因）
- 横座り（コツ馬のスレ、左右の足の長さに差が生じる）
- スマホ姿勢。浅く腰掛ける（骨盤のスレ、腰への負担が大きいため腰痛の要因）
- 猫背（肩のまわりの血行不良。内臓にも負担）
- 片足の足に重心をかける（体のゆがみ、左右の足の長さに差を生じさせる）

台所やパソコンなどで長い時間同じ姿勢をとったあとは、う～ん!と背伸びで血流回復

4つで吸って1・2・3・4 2止めて1・2 ゆっくり1・・・8つで吐く

歩く 働く 動く

できれば 大腿、速足で10分間（筋肉が弱まると体力が衰え、気力もしぼむ）

いつのまにか元気！

原発ゼロ

東京電力福島第1原発事故当時、福島県や隣県に住んでいた約38000人が国と東電に総額約160億円の損害賠償などを求めた訴訟で、福島地裁（金沢秀樹裁判長）は10日、国と東電に対し、賠償を命じる判決を言い渡した。

約1万2000人の避難者らが全国の地裁に起こした約30件の集団訴訟の中で判決は3件目。原告

数是最も多い。3月の前橋地裁判決は国と東電の賠償責任を認めて原告62人に総額約3800万円を支払うよう命じていたが、9月の千葉地裁判決は国については「遅くとも平成18年までに津波が発生する可能性を見できたが、対策を取っても事故を回避できなかった可能性がある」などとして、請求を棄却した。東電のみに対して原告42人に総額約3億7600万円を支払うよう命じた。全国で起こされている約30の同種集団訴訟で2

例目の判決。初の司法判断となった3月の前橋地裁判決は国と東電の賠償責任を認めて原告62人に総額約3800万円を支払うよう命じており、結論が分かれた。

（1）東電と国は巨大津波を予見し事故を回避できなかったか（2）国は東電に安全対策を取らせる権限があったか（3）国の指針に基づく東電の賠償は妥当かが主な争点。

政府の地震調査研究推進本部は14年7月、「マグニチュード8クラスの津波地震が30年以内に20%程度の確率で発生する」との長期評価を公表。判

決は「この知見を前提として、津波の高さを算出していけば、経済産業相は遅くとも18年までに敷地を超える津波が発生する可能性があることを予見できた」とした。

福島県原町市（現南相馬市）で生まれた遠藤さんは15歳から建築関係の仕事に就き、その後上京。25年前の平成4年、老後の安住の地として自宅を建てたのが福島県富岡町だった。だが、福島第1原発事故で、終の棲家は一変。事故直後に避難し、約半年後の23年8月に一

時帰宅した家が窓ガラスが割られて泥棒に入られ、畳にはキノコが生えていた。防護服を着なければ立ち入ることができない。

周囲の水田も雑草が生い茂り、野生動物が歩き回る。あまりの変貌に「なんでこんな目にはなったか」と振り返る。自宅は今年7月に解体。近所の人ともいなくなり、今更住めないと感じた。

23年3月の原発事故当時、仕事で習志野市に滞在し、一時的に住民票

を移していた。事故後、東電に補償を求めたが「富岡町には住んでいないから請求権はない」といわれてきたという。町役場から紹介された千葉県の弁護士に相談して、25年3月、妻の公子さん（76）とともに集団提訴に踏み切った。

自身が工事にも関わった福島第1原発で起きた事故に「工事に参加したときは堅固な建物で簡単に壊れないと感じ、安全神話を信じていた。それなのに裏切られた」と憤りをみせる。（ネットより）

格差是正へ画期的な判決計92万円のしほり命ずる 郵政20条裁判を支える会 第3回総会

労契約法20条裁判をたたかう郵政原告団を支える岩手の会第3回総会が10月18日岩手県民会館4階第2会議室で、開催され支援者30名が集まりました。

広島から駆け付けた西日本原告団の岡崎さんから、東北でも労契約法20条裁判の原告団になってほしい。全国各地で闘争団を結成し一緒に闘いたいとの訴えに、細川孝太書記長を含む2名が決意しました。

提訴から3年、郵政

の武器となる

9月14日、東京地方裁判所において佐々木良博弁護士は労働契約法20条の施行以来、不当な裁判が続いているなかで、不当な休職がないことを違法とした判決。これまでの判決の流れを大きく変え、今後の非正規労働者の労働条件格差を是正していくための壁を開く判決であり、今後の武器となる判決。

今後の闘い



岡崎 徹

来年2月21日
西日本裁判結審

広島中央郵便局岡崎徹さんが駆けつけてくれました。岡崎さんは西日本労契約法20条裁判原告団の1人です。



佐々木良博弁護士

非正規問題は、貧困・教育の機会不平等の現実と密接に絡み付く。私は差別をなくしたい。子どもたちの未来に差別社会を持ちこませたくない。

福祉労組処遇改善の署名活動



訴える保育士

英会」の若者がカンパのお願いの街頭宣伝を行っていたので、ここの後宣伝活動と忙しいのかと近づくと、福祉労組の若い女性30名位が代わるがわるマイクを持ち、保育士の現状を訴えていた。

今から中身を作ります。10月28日大通り「野の皆さんに感謝致し 村証券」ビルに近づくと



建交労鉄道岩手地本本部第19回定期大会
日時 11月19日 15時
会場 八幡平ハイツ
講演 17時から
国鉄「民営分割」30年の検証
東日本本部書記長 下山信好
組合員&OBとの懇親会 18時より

戦争国家づくりの安倍改憲を必ず阻止しよう 強大な建交労を実現し、すべての要求闘争を前進しよう 建交労岩手県本部第19回定期大会

戦争国家づくりの安倍改憲を必ずし、長大な建交労を実現し、すべての全ての要求を前進させようと、本部の角田季代子中央執行委員長を迎えて、第19回建交労岩手県本部定期大会を10月22日八幡平ハイツにおいて県内から26名の組合員参加者で行われ、活発な討論が行われました。

今の建交労はコロナ ポレシオンで発展 する

角田季代子委員長の講演で、足腰の強い組



角田委員長を囲んで

織にするには、1000%中央本部登録と雑誌建交労2000部拡大がカギである。職場単位で闘わないと物事は進まない「だからがやってくる」から「自ら闘う」。

各支部の運動方針
今ダンブの組織化、拡大が進んでいる。各組織は、仲間の知識を引き出し、共感の連帯で仲間同士の「ミニネーション」をはかり組織拡大を！。

農林支部

組織強化拡大し200名組織とします。振動障害・じん肺・難聴・アスベストの職業病予防の取り組み。労災保険法の趣旨に基づいた行政処分がなされるよう、運動していく。

ダンブ

国・県は、交通安全を推進する団体等を公共工事で優先して使用することを政策として位置付けています。国交省や農水省・UR・ネクスコ・森林管理など、公共事業においては当組合への使用促進措置を請負者へ徹底しており、建設会社と交渉中。

各支部の運動方針
キャラバン行動、15名の組織拡大。企業組



ダンブ労働者へ拡大行動

建設労岩手ダンブ支部では、第3回となるダンブ労働者へ拡大行動を10月5・6日2日間釜石市で取り組みました。5日は、今シーズ最低気温の朝でしたが釜石市は、秋晴

合として営業ナンバーの取得が可能になり、社会保険・労働保険と保険関係も一部加入することが出来、労働者

も安心して加入しています。現在19台で駐車スペースは20台となっています。

盛岡支部

組合のスピーカーガンである「失業・貧乏・戦争に反対する」旗の二円硬く団結して取り組んでいく。

学童

学童保育指導員賃金は、改善されたものの最低賃金に近い水準です。若い指導員と一緒に飲むのを誘われて今交流の場が開けた。

全労連拡大総 がかり行動

車とダンブや建設関係の車両が半々くらいでした。最初二つの班に分かれ昼休み中のダンブにチラシを配り、午後には交差点でチラシを配ります。建設労岩手ダンブ支部